

	部(支所)長	課長	担当
回 覧			

## 省力型水稻除草剤の紹介

段々と暖かくなり春の気配が感じ取れます。

今回の情報誌のテーマは省力型水稻除草剤のご紹介です。除草剤の散布は労力が必要であり、雑草防除に作業がいき届かない場合があります。そこで省力型水稻除草剤を用いてしっかりとした雑草防除を行い安定した収量・品質を目指しましょう。

初めに・・・

### 除草剤の基本知識！

#### ○初期剤

⇒ノビエを含む種子発生の雑草の発生前後で効果の高い単剤または混合剤である。

なお、散布時期については移植前のみと移植前後に散布できるものがある。

①代かき時（移植4日前まで）

②代かき後～移植7日前まで、または移植時

#### ○中期剤

⇒主に初期剤との体系処理で、生えそろうた雑草をたたく混合剤である。

#### ○一発剤

⇒雑草の発生前から生育期に使用でき中期剤に比べ残効が長く、多年生雑草にも効果が高い混合剤である。

#### ○中後期剤

⇒一発剤や中期剤で防除しきれなかった雑草を防除する。

\*このように使用時期に合わせて体系処理で取り組むことにより雑草の防除に高い効果を示します。

【次のページより様々な省力型水稻除草剤を紹介いたします！】

**私たちJAグループは“無登録農薬”は扱いません！**

省力型技術として豆つぶ・顆粒水口処理・フロアブル水口処理があります。

## 豆つぶ剤とは・・・

水田散布後に農薬が自ら拡散する省力型除草剤です！

- 軽くて少ない「豆つぶ」の中に、優れた拡散性を有します
- 散布直後水に乗って広がっていきます
- 多様な散布方法に対応します⇒手まき、ひしゃく、動力散布機
- 飛散の心配が少なく、稲に付着せず、畝や作業者を汚さずに散布することができます

## 水口処理とは・・・

水口に流し込むだけの省力処理技術です！

- 剤形として主にフロアブル剤と顆粒水和剤があります。

⇒水田の面積・形状等によって拡散の時間や仕方が異なります。

- 作業の時間短縮を行うことができます

## 豆つぶ剤特徴

### 【使用方法】

ひしゃく散布

⇒10～15m程度まで投げ込むことができ水田内に入らずに畝からの散布で水田全体に拡散します  
⇒さらに畔際散布（30a程度推奨）、背負い動力散布機、無人ヘリコプターなどで散布可能です  
10aあたり250gで軽量散布が可能です



粒径 5mm 豆粒大



\*土が露出しないように、田面が高い所でも水深5cm以上を確保して散布するように水管理の徹底を行ってください

\*風向きによって剤の拡散の仕方が異なる場合がありますので風向きに注意して散布してください

(様々な散布方法)



手撒き



ひしゃく散布



袋から直接散布

## 水口処理特徴

### 【フロアブル剤】

流し込み処理はカチボシフロアブル剤をご利用いただけます！  
水口に流し込むだけの省力処理で大きな圃場でも簡単に処理できます



### （使用方法）

- ①散布前の準備として代かきを丁寧に行い、田面を均平にする。
  - ②水深を2~3cmにする。＊水尻は必ず止める。
  - ③入水しながら薬剤を流し込む。
  - ④水位が2cm以上アップしたら水を止める。
- ＊均平の悪い圃場、かけ流しの水田は適しません

### 【顆粒水和剤】

水稻除草剤コメット剤（顆粒水口処理）についてご紹介します！

この顆粒水口処理は水口にセットして水の流れにより水田に除草剤が拡散する処理技術です。この技術を利用することにより作業時間の短縮、田んぼに入らずに除草を行うことができます。



### （使用方法）

- ① まずは周囲に水漏れがないことを確認する。
  - ② 流し込み前に水深を2~3cm確保する＊水尻は必ず止める。
  - ③スティックに入っている除草剤を専用のメッシュ袋に入れて、水口に設置して入水を開始。
  - ④流し込みを開始したら水深を2cm以上アップさせる。＊その後の入水は3日間しないこと。
- ＊均平の悪い圃場、かけ流しの水田は適しません

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発 生 程 度	
		現 況	予 想
麦 類	うどんこ病	並	並
きゅうり	べと病	やや少	やや少
	うどんこ病	並	並
	褐斑病	少	少
	菌核病	並	並
	灰色かび病	並	並
	ミナミキイロアザミウマ	やや多	やや多
トマト	コナジラミ類	少	やや少
	黄化葉巻病	並	並
	灰色かび病 コナジラミ類（防除情報第17号）	やや多	多
いちご （本圃）	うどんこ病	並	並
	灰色かび病	並	並
	アブラムシ類	やや多	やや多
	ハダニ類（注意報第10号継続）	多	多
たまねぎ	白色疫病	やや少	やや少
	べと病（防除情報第18号）	並	やや多
	ネギアザミウマ	少	やや少
かんきつ	そうか病	並	並
	かいよう病	（越冬病斑） 並	並
	ミカンハダニ	（越冬病斑） 少	やや少
果樹共通	クワゴマダラヒトリ	やや少	やや少
茶	カンザワハダニ	やや少	並

【発生予報】 本文の（ ）内は平年値

\*引用：長崎県病害虫防除所ホームページ 平成29年病害虫発生予報第12号

\*4月号に記載されている内容はJA全農ながさきのホームページに掲載されています。

JA全農ながさきホームページURL：<http://www.ns.zennoh.or.jp>

## JAグループ「安全防除運動」展開中

### ◎農産物の安全……今、消費者がもっとも願っている「食の安全」。

それは私たち生産者の願いでもあります。きちんとした農薬を選び、正しく使って、日誌に記録を残す。これを続けることが、消費者に信頼される農産物づくりにつながります。

- ・使うのは、もちろん登録農薬！
- ・安全使用・事故防止へ、ラベル確認を習慣に！
- ・使用後も、防除日誌で“安全証明”

### ◎環境の安全……土や水といった自然の恵みを利用して営まれている

農業。皆さんが守り続けてきた大切な田畑を、次の世代に残すためにも、自然環境に十分配慮した農薬散布を心がけましょう。

- ・必要量だけ希釈し、使い切る。空容器は適正処理を！
- ・水稲除草剤の散布後は、圃場外への流出防止策を！

### ◎農家の安全……軽装備による散布中の事故や子供の誤飲事故が増えています。

いくら周辺の環境に配慮しても自身の健康を害しては何にもなりませんし、周辺住民との信頼関係を築くためにも農薬の保管管理にはいっそう注意したいものです。

- ・暑さに負けるな。完全防備！
- ・使用後は“薬の戸締り”万全に！

散布するときは、  
マスク、メガネ、手袋を  
きちんと、つけましょう。



安全使用基準を守りましょう